



まなびかんニュース パソコン道場

まなパソコン道場

第30回

紙面記載の画面は
Windows7+Office2013
操作環境によっては表示
が異なる場合があります

黒帯級 面倒な区間集計で困ったときはExcel 配列数式！

A	B	C	D	E	F	G	H
1	番号	氏名	年齢		年齢層	人数	
2	1	田中	61		0 ~ 19		
3	2	山本	52		20 ~ 29		
4	3	伊藤	49		30 ~ 39		
5	4	鈴木	37		40 ~ 49		
6	5	飯田	63		50 ~ 59		
7	6	小林	78		60 ~ 69		
8	7	石川	55		70 ~ 79		
9	8	藤田	41				
10	9	渡辺	43				
11	10	市村	60				
12	11	佐々木	22				
13	12	岡田	33				

例えば左図のような「番号・氏名・年齢」の表(A1:C13)がある。バラバラに記載された年齢から「年齢層と人数」の表(E1:H8)のH列に、年齢層の範囲(「20~29」など)に何人いるか人数を集計したい。

G列を見てみよう。「19、29...79」と10ずつ下に向かって増加している。ここが重要ポイントで、必ず昇順または降順になっていれば良い。このG列を境目にC列の年齢の値が「区間にいくつあるか」(＝度数分布)を配列を使って集計する。さて、ややこしそうだが関数一つで問題解決じゃ。色々な場面で応用が利くのでぜひやってみよう。例題では12件のデータだが、仮に1,000件あっても一発じゃ!!

1 セルH2~H8を選択したまま、以下を入力して、

=FREQUENCY(\$C\$2:\$C\$13, \$G\$2:\$G\$8)
データ配列 区間配列

2 まだEnterキーは押しはけない。上記関数を入力したら、**CtrlキーとShiftキーを押したままEnterキーを押す。**すると、H2~H8の数式はすべて、

{=FREQUENCY(\$C\$2:\$C\$13, \$G\$2:\$G\$8)}

となる。この大括弧 {} でくくられた式を配列数式という。一見、変な数式のようなだが、FREQUENCY関数を使って度数分布(つまり縦方向の頻度分布)を返す。

書式は **{=FREQUENCY(データ配列, 区間配列)}**

黒帯・免許皆伝! 指数★★★★

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	番号	氏名	年齢		年齢層	人数			
2	1	田中	61		0 ~ 19	0			
3	2	山本	52		20 ~ 29	1			
4	3	伊藤	49		30 ~ 39	2			
5	4	鈴木	37		40 ~ 49	3			
6	5	飯田	63		50 ~ 59	2			
7	6	小林	78		60 ~ 69	3			
8	7	石川	55		70 ~ 79	1			
9	8	藤田	41						
10	9	渡辺	43						
11	10	市村	60						
12	11	佐々木	22						
13	12	岡田	33						

配列を使って一気に結果を出せる、Excelの上級テクの1つじゃ。ぜひチャレンジしてみよう。

白帯級
初級レベル
茶帯級
中級レベル
黒帯級
上級レベル